

2024～2025

国際ロータリー第2730地区

週報 佐土原ロータリークラブ

UNITE
FOR
GOOD

会長: 福嶋 城史 副会長: 東 真苗美 RI2730 地区ガバナー 西本 幸則
幹事: 工藤 登紀子 会計: 田辺 浩嗣 中部グループガバナー補佐 藤堂 孝一
事務局: 押川 有里 会報委員: 藤浪 淳志 RI会長メッセージ よいことのために
例 会 場: コンベンションセンター 手を取りあおう

2730地区メッセージ 「居心地の良いクラブとは」

例会場住所: 宮崎市大字塩路浜山 例会場TEL: 0985-21-1133・FAX 0985-21-1144

事務局住所: 宮崎市神宮東2丁目6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

RIメッセージ
よいことのために
手を取りあおう

第1715回例会 令和7年7月16日(水)

<今日のプログラム>

1. 点 鐘 会長 福嶋 城史 君
2. ロータリーソング ♪ 奉仕の理想 ♪
3. 4つのテスト 本日の担当者より
4. 会長の時間 会長 福嶋 城史 君
5. 幹事報告 幹事 工藤 登紀子 君
6. 出席報告 出席委員より～
7. HPBOX披露 小牧義隆 君
8. 委員会・クラブ運営報告 藤堂孝一ガバナー補佐
9. 会員卓話 東真苗美 君
10. 次週夜間例会案内 SAAより
11. 点 鐘 会長 福嶋 城史 君

第1715回例会記録 令和7年7月16日(水)

■会長の時間 会長 福嶋 城史 君



スピーチの長さとはTEDの話

- ・会長が「人前で話すのが苦手な人が多い中、良いニュースを持ってきた」として話し始める。
- ・世界的なプレゼン団体「TED」では「8分から10分が理想的なスピーチ時間」とされている。
- ・集中力の持続もこの時間が限界という心理学的データがある。
- ・今後はこの「8分スピーチを目安」に取り組んでいくと宣言。

職業紹介と「7士業」について

- ・自身は「行政書士」と「土地家屋調査士」の資格を保有。いわゆる「七士業」のうち2つ。
- ・七士業: 弁護士、司法書士、税理士、行政書

士、土地家屋調査士、社会保険労務士、建築士。
・この2つの資格を51歳で持っているのは「業界では若手」とよばれ貴重な存在。

行政書士の仕事

- ・業務内容は非常に広範で、「他士業でできない業務」が対象。
- ・具体例: 農地転用の許認可(例: 畑を駐車場に)、市街化調整区域での住宅建設許可、空き家対策関連の許認可取得。
- ・最近「太陽光+蓄電池」の案件も増加中で、県外に出張し業務を行うこともある。

■幹事報告 幹事 工藤 登紀子 君



命のカード配布(自殺防止活動)

- ・年間約2万人が自死。
- ・小中学生の自殺も増加傾向にあるため、「命の電話カード」を啓発目的で配布。
- ・ロータリーの7つの重点分野のうち、「メンタルヘルス支援」に関連。

青少年交流プログラム

- ・8月24日(日) 11時～メインホテルにて開催。
- ・留学生(ポーランド・フィンランド・台湾) 3名のオリエンテーションと、帰国者報告会。
- ・興味ある方は8月8日までに申し込みを。

■出席報告「夏祭り・花火大会情報」太田忍 君

- ・本日の出席率は65%
- ・8月2日に宮崎花火大会開催予定。商工会を通じて3,000円で観覧席チケット購入可能。
- ・最前列に近く、自由に出入り可能な会場もあるとの情報。

- ・会員は毎年ビールなどを持ち込み楽しんでいる。
- ・同時期に「上田島だんじり祭り」も開催予定で、迫力ある神輿のぶつかり合いが見どころ。



■ハッピーボックス披露 小牧義隆 君

- ・土曜日には広瀬神社で「広瀬音頭」を披露。
- ・小学生や地元婦人会が踊りを担当し、民謡歌手（杉田宏さん）が歌唱。
- ・夜間には青少年指導員として地域パトロール活動も実施予定。
- ・宇治橋さん夫妻：7月26日で27回目の結婚記念日。健康に気をつけてこれからも仲良く過ごす意向。
- ・東さん夫妻：結婚記念日は不明だが、おそらく24年目。来年の銀婚式に向け努力中。
- ・「エゴマ油のおにぎり活用」についての話題が共有された。



■委員会・クラブ運営報告 藤堂孝一ガバナー補佐

- ・公式訪問が各地で始まっており、ジャケット着用＋ネクタイ着用が推奨されている。
- ・他クラブ（鹿児島南西クラブ等）では会員数の減少により解散や脱退の動きがある。
- ・佐土原クラブは40～50代の若手メンバーが多く、活気ある体制が構築されている。
- ・ベテラン勢（入会歴25年以上）も多く、安定した土台があることが強みとされている。
- ・福島会長と工藤幹事のリーダーシップに期待が

寄せられている。



■会員卓話 東真苗美 君

- ・石川県能登地震に際し、金沢市の1.5次避難所にて介護支援を実施。
- ・寝たきり要介護者のケアを中心に、電動ベッドでの生活補助に従事。
- ・食事はすべてゼリー状。トイレ・洗顔環境は極めて劣悪で、衛生管理が課題。
- ・支援物資の配布にはD-WAT（熊本チーム）が中心的に関与。
- ・備蓄品や防災用品として黒いゴミ袋、新聞紙、ソーラーライト、猫砂、ハチミツなどが有効。
- ・杉良太郎・伍代夏子夫妻の訪問が被災者に大きな励ましとなった。
- ・教訓として「ガソリンは常に半分以上」「新聞は多用途で便利」といった話も共有。

